

ふくおか

FUKUOKA No. 47

第47号
令和4年2月発行



筑紫野市



大木町



みやこ町



直方市



糸島市

- 会長挨拶 1
- 定時総会、役職員研修会・理事長研修会 2
- 会員拡大の取組みについて 3
- シルボンヌ拡大の取組み 4
- シルバー事業に係るインボイス制度について 4
- 安全・適正就業について 5
- 独自事業 6-7
- 子育てマイスター報告・会員募集 7

女性会員（シルボンヌ）大活躍しています！

令和4年に向けて

公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会
会長 内田 敏夫



新しい年を迎え、「シルバー連合会
くおか」第47号を発行するにあたり、
一言ご挨拶を申し上げます。

令和3年は、一年遅れのオリンピック
クイヤーであり、東京で開催された
オリンピック・パラリンピックにおい
て、日本選手団が大活躍するなどの
明るいニュースがありました。令和
2年に引き続き、新型コロナウイルス
感染症の流行が繰り返し訪れるな
ど、シルバー人材センター事業を取
り巻く環境は厳しい状況が続いてい
ます。

このような状況の中で会員の皆様
には、それぞれの就業先において感
染防止対策を講じながら就業を継
続していただきました。そのご尽力
に感謝申し上げます。

企業において70歳までの就業確保
措置の努力義務化など、高齢者が働
き続ける環境が整えられてきてお
り、センターにおいては、平均入会年
齢が70歳という状況に対応した取組
みの強化が求められています。

さらに、令和5年10月から予定さ
れている消費税における適格請求
書等保存方式（インボイス制度）の
導入は、シルバー人材センター事業
に及ぼす影響が極めて大きい。ため、
安定的なシルバー事業の運営が可
能となる措置を求め、各センターや
連合会においては、市町村及び県に
対する草の根運動の実施などの取
り組みを進めてきたところです。

このように、令和3年は、まさしく
新型コロナウイルスと対峙しなが
ら、社会の変化への対応に追われた
一年であったと言えます。

県内の会員数は令和3年11月末現
在と前年同月末を比較すると
700人以上減の23,696人と
なっています。最重要課題として連
合全体で取り組んでいる会員拡大で
すが、新規入会者の拡大と併せ、退
会者の抑制や80歳を超えても活動で
きる場を作ることなども重要である
と感じています。

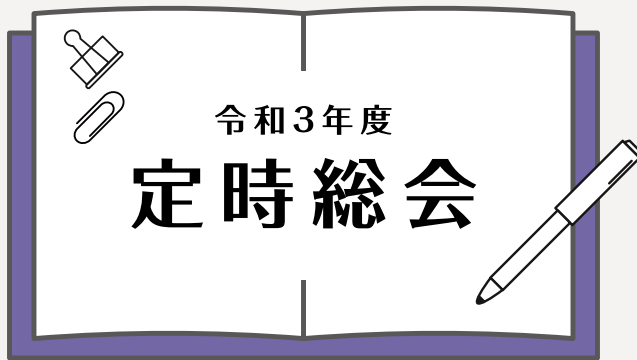
一方、オミクロン株による感染拡大

の懸念などありますが、ワクチン接
種率の向上や治療薬の国内承認など
により、今後は、社会の安定と景気回
復に伴い、シルバー人材センターの
就業も更に改善されていくものと期
待しているところです。

連合会としましても、ピンチを
チャンスに変えるべく、この二年も、会
員の皆様、センター、連合会が一体と
なって、シルバー事業のさらなる飛躍
を目指し取り組んで参りたいと思
います。

最後になりますが、本年が会員の
皆様、センター及び連合会の役職員
の皆様にとって、健康で、喜びと幸せ
に満ちた一年となりますことを心か
らお祈り申し上げます。





令和3年6月17日(木) 13時30分から福岡県中小企業振興センターにおいて、令和3年度定時総会を新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行ったうえで、開催しました。内田敏夫連合会会長のあいさつに始まり、総会の議長には、公益社団法人春日市シルバー人材センター手嶋一汪理事長が選出され、議事が進められました。当日審議された議事は、第1号議案令和2年度事業報告、第2号議案令和2年度決算報告及び監査報告、第3号議案役員を選任でした。いずれも満場一致で、原案通り可決承認されました。なお、役員改選期のため、同日臨時理事会を開催し、会長、副会長、常務理事が選定されました。

[役員名簿]

職	氏名	所 属	
会 長	内田 敏夫	公益社団法人福岡市シルバー人材センター	理事長
副会長	村地 史朗	公益社団法人北九州市シルバー人材センター	理事長
理 事	松原 静雄	公益社団法人筑紫野市シルバー人材センター	理事長
理 事	田原 宏	公益社団法人粕屋町シルバー人材センター	理事長
理 事	船附 昇	公益社団法人新宮町シルバー人材センター	理事長
理 事	鹿毛 政雄	公益社団法人築上町シルバー人材センター	理事長
理 事	伊塚 弘	公益社団法人苅田町シルバー人材センター	理事長
理 事	有吉 武雄	公益社団法人宮若・小竹シルバー人材センター	理事長
理 事	奈良崎洋治	公益社団法人久留米市シルバー人材センター	理事長
理 事	川上喜代太	公益社団法人朝倉市シルバー人材センター	理事長
理 事	石松 哲	公益社団法人筑前町シルバー人材センター	理事長
常務理事	原 則正	公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会	事務局長
監 事	佐藤 義廣	公益社団法人大野城市シルバー人材センター	理事長
監 事	名島 未登	公益社団法人うきは市シルバー人材センター	理事長



■ 役職員研修会

令和3年6月17日(木) 定時総会終了後、同会場にて役職員研修会を開催しました。研修内容は、令和5年10月からの適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)の導入について、当連合会常務理事兼事務局長原則正から、制度概要、シルバー人材センターの運営に与える影響、現時点の方向性等を説明しました。

■ 理事長研修会

令和3年11月5日(金) 理事長研修会を福岡県中小企業振興センターにおいて開催しました。講演Iは『福岡県シルバーへの期待—会員拡大の取組みと安全就業の徹底—』について、全国シルバー人材センター事業協会姉崎猛専務理事から、社会の期待に応える、地域にとって存在感のあるシルバー人材センターを目指すことが必要であることをご教示いただきました。講演IIは『女性の活躍推進』をテーマに、講師にリムリムラボ代表、天神キャリア塾塾長の村上由香里氏を迎えご講演をいただきました。シルバー事業の活性化にはもっと多くの女性が運営に携わることの必要性を感じたところです。



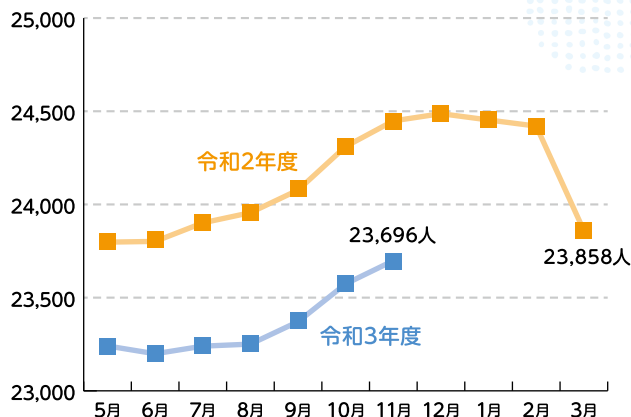
会員拡大の取組みについて

会員数の状況

令和2年度末現在における福岡県内の会員数は、令和元年度末現在と比べて、808人の減(3.4%)の23,858人となっています。

令和3年度においても新型コロナの流行は繰り返し発生。11月末現在でも前年同月比で754人減の23,696人となっており、減少傾向が続いています。

令和3年度の入退会者の状況をみると入会者は前年度より増加したが、それ以上に退会者が発生しており、退会抑制が重要な課題となっています。



あなたの友人や知人にセンターの入会説明会への参加を呼びかけてみませんか。

女性会員拡大の取組み

倉迫委員長による各区女性委員の紹介



北九州市シルバー人材センター(女性委員会)と福岡県シルバー人材センター連合会の共催で、11月17日に「市民と会員のつどい・シニア女性応援セミナー」をウエルとばた(北九州市戸畑区)で開催。140人(うち59人は非会員)が参加。

当日は、女性委員会のメンバーによるセンターの活動紹介や、歌人齋藤茂吉の孫で芥川賞作家北杜夫の長女の齋藤由香さんによるユーモアにあふれた講演、そしてShana(シャナ)によるオカリナとギターによる演奏などにより、日頃の喧噪を離れ、笑い癒やしの時間を過ごすことができました。

技能講習会

国の委託を受けて、新規会員獲得のためや既存会員の職種転換のための技能講習会を開催しました。

剪定・チェーンソー講習会の様子



朝倉市会場



宗像市会場

講習名	開催数	開催日数	受講者数
介護・家事援助	5	2日間	51
刈払機	7	2日間	91
子育て支援	1	2日間	12
事務補助	2	1日間	42
整理収納アドバイザー	3	1日間	45
剪定・チェーンソー	4	3日間	62
調理補助	3	2日間	19
ハウスクリーニング	5	2日間	68
マンション管理	2	2日間	27
計	32		417

※R3.12月末現在

就業体験

センターの独自事業や派遣先の企業を紹介する体験会を開催しました。

うきは市での農業体験



七尾製菓見学



体験名	実施市町村	実施月(実施日数)	参加者数
障子・網戸張替	福津市	7月(1日間)	16
店舗接客	志免町	8月(1日間)	10
小物づくり	古賀市	10月(1日間)	16
刃物研ぎ	田川市	10月(1日間)	11
小物づくり	須恵町	10月(1日間)	15
障子・網戸張替	直方市	11月(1日間)	9
刃物研ぎ	糸島市	12月(1日間)	15
リースづくり	久留米市	12月(1日間)	14
介護レクレーション	大木町	10月(1日間)	10
七尾製菓見学	北九州市	11月(1日間)	10
農業体験	うきは市	11月(1日間)	20
計			146

女性会員(シルボンヌ) 募集中!



当連合会では最重要課題である女性会員を増やすため、県内6センター及び連合会の女性事務局職員で構成する女性会員(シルボンヌ)拡大に関する委員会を設置し、令和2年度に作成した「女性会員拡大に関する提言」の検討課題に取り組んでいます。

女性会員の活動を多くの方に知ってもらうため、今までとは違うアプローチとして連合会でInstagram(Instagram)を開設しました!(令和3年9月6日~)

アカウント名:
silbonnefukuoka

SNSを活用した女性会員紹介など、仲間がいることをアピール♪既存のFacebookにもリンクし、情報発信をしています。

シルボンヌの活躍をぜひご覧ください。



Instagram 活用の目的

- ① **女性の入会促進:**
女性会員が生き生きと就業する姿を伝え、入会促進を図ること
- ② **仲間づくりの楽しさを伝える:**
女性会員同士の繋がりを深めること
- ③ **センター間の情報交換:**
センター間の交流の輪を広げること



シルバー事業に消費税のインボイス制度の特例を求める「草の根運動」の実施と市町村・県議会の動きについて

消費税法の改正に伴い導入されるインボイス制度。この制度の導入に伴い、今までセンターが請負・委任で受注した仕事を消費税の非課税事業者である会員に再請負等する際に、センターは、新たに消費税を負担しなければなりません。ところが、センターには、これを負担する財力はありません。

インボイス制度導入の影響は極めて大きく、センターの存続に関わる問題です。そのため、全国シルバー人材センター事業協会を中心として、センター及び連合会では、シルバー事業に制度の特例を設けること等について、市町村・県の首長及び議長に働きかけを行う、「草の根運動」に地域の実情に応じて取り組んでいるところです。

令和3年12月28日現在、小郡市、大刀洗町、那珂川市、豊前市、行橋市、大木町、築上町、苅田町、みやこ町、の9市町において意見書採択(可決)

福岡県議会においては、自由民主党県議団の提案により、シルバー事業にインボイス制度の適用除外等の措置を講じることを求める意見書を令和3年12月議会において可決

令和3年度 安全就業 促進大会

安全就業促進大会が、11月30日(火)、福岡市東市民センターで開催されました。

今年度も新型コロナ禍に於ける開催のため、前年度と同様、時期を7月から11月に変更し、参加者も制限する中での開催となりました。県内42センターから会員・安全就業推進委員など184名の方が参加されました。

式次第

- 開会のことば 有吉武雄安全・適正就業対策委員会委員長
(宮若・小竹シルバー人材センター理事長)
- 会長の挨拶 内田連合会会長
- 来賓の挨拶 福岡労働局職業安定部長、福岡県福祉労働部労働局長
- 安全就業優良センターの表彰
- 安全標語の入賞発表、表彰
- 安全・適正就業対策委員会報告
- 事例発表 西岡章飯塚市シルバー人材センター
安全・適正就業対策委員会委員長
- 記念講演 藤代一也産業医、福岡医療クリニック院長委員長
「脳から高齢者の安全衛生を考える」
- 安全就業宣言 矢野正博朝倉市シルバー人材センター安全委員会委員長
- 閉会のことば 井上安全・適正就業対策委員会副委員長
(那珂川市シルバー人材センター事務局長)



安全就業について

令和3年度は11月まで重篤事故は発生していませんが、傷害事故(派遣含む。)は110件と前年同月と比べ21件、10%の増加となっています。事故の型としては、例年と同様で①転倒、②墜落・転落で全体の約6割を占めています。

視力・聴力等の感覚機能、バランス機能等は、個人差はありますが、早い時期から低下が始まり、筋力については、まず脚力の低下から始まります。

気持ちと身体は自分が思うようにならないのが現実ですので、重症化する事が多い転倒、墜落・転落にはくれぐれも注意をお願いします。

また、11月まで特徴としては、女性の就業途上における事故が多く発生しました。

全国的にも女性の就業途上の事故が多い状況です。女性に限らず会員の皆さんは就業途上においても注意をお願いします。事故を起こさないためにも、「絶対にムリはしない。」を心がけてください。

次に11月までの賠償事故(派遣含む。)は、119件と前年同月と比べ3件減少と、ほぼ同じような状況となっています。

事故の型としては、石飛びが全体の50%強と依然として多い中、今年度は、防護ネットの使用率が大幅に上昇しているのが特徴です。皆さんの努力で防護ネットの使用が着実に行われるようになっていきます。設置位置等の創意工夫、現場での危険予知を含めた情報共有のためのミーティングを確実に行うことで、「石飛び」による事故は更に減少するものと思われれます。

安全・適正就業対策委員会では、安全な就業を目指し毎年、パトロールを実施しています。

本年度は8センターの現場を訪問し、助言等を行いました。

「安全は全てに優先する」を合言葉に、今後も継続して安全就業に努めていきましょう。



独自事業の紹介

シルバー人材センターでは、高齢者の知識・経験・能力を生かし、独自の創意と工夫により就業機会の創出と地域社会に多種多様なサービスを提供するため、独自事業を展開しています。2回目は、「インテリア雑貨」に関する商品を製造・販売しているセンターを紹介します。

太宰府市 シルバー人材センター

樹脂粘土

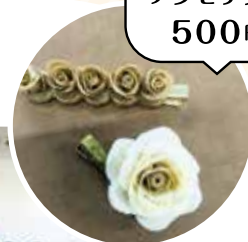
最近話題の樹脂粘土を使った、手作りの花やアクセサリー製品の販売をしています。お部屋のインテリアとしても、ちょっとしたプレゼントにも最適です。

また、センターではご自分で手作りしてみたい方を対象に、樹脂粘土教室「KOTO」も開催しています。

樹脂粘土 教室



ヘア
アクセサリ
500円



お花各種
1000円



商品は、**お届け先住所に発送**いたします。
詳しくはセンター事務局までお問合せください。

092-921-4222

別途送料がかかります。
写真はイメージです。

小郡 大刀洗広域 シルバー人材センター

木工品

じいじの手仕事シリーズ

木の温もり一杯の「じいじの手仕事シリーズ」は、木工班「シルバー工房輝」のメンバーがひとつひとつ丁寧に製作しています。小郡市のふるさと納税返礼品としても採用され、大変好評をいただいております。ふるさと納税サイトからもご購入になれます。(大きさ等もご参照いただけます。)

商品は、**お届け先住所に発送**いたします。
詳しくはセンター事務局までお問合せください。

0942-73-1881

別途送料がかかります。
注文製作となりますので、納期はご相談ください。

おもちゃ各種
3,800~6,000円



木馬
12,000円

キャットタワー
(組み立てキット)
16,000円



柳川市

シルバー人材センター

さげもんめぐり

柳川では、昔から女の子の初節句にひな壇と一緒に飾られるのが「さげもん」です。手芸同好会の会員が、初節句の女の子がこれからも健康で、一生幸せに育ってほしいという願いを込めて作製しています。

期 間

2月11日～3月27日

期間中、店頭販売いたします。

場 所

おばちゃんキッチン
「つどい」2階 柳川市京町19
10時～16時

さげもんは、**店頭販売のみ**となっております。
詳しくはセンター事務局までお問合せください。

☎ 0944-73-4585



今年も元気に活動しています!

ふくおか 子育てマイスター



本年度で10年目を迎えた「ふくおか子育てマイスター」は、認定研修会のほか、フォローアップ研修会を開催するなど様々な活動に取り組んでいます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響を受け、フォローアップ研修会を行えませんでした。今年度は5つの地域で開催しています。2年ぶりの開催とあって多数のお申込みがあり、子育てマイスターの方々の意識の高さに感銘を受けています。

フォローアップ研修会では、興味のある講座を選択し、受講できるようになっています。障がい児や親に対する理解や支援、保育補助の役割など、子どもに関する幅広い視点で展開しており、子育て支援活動の更なる向上に繋がっています。

あなたも「ふくおか子育てマイスター」となって、地域の子育てを応援しませんか。

60歳以上の子育てに関心のある方なら、どなたでも「ふくおか子育てマイスター」認定研修会を受講できます。ご応募をお待ちしております。



フォローアップ研修会 開催内容

- 子どもと遊び
- 子育てボランティアのススメ
- お母さん攻略法
- 発達障がいへの理解

お仕事仲間を大募集

あなたが身に着けた知識や経験を活かし、地域社会に貢献してみませんか? シルバー人材センターでは、一緒に活動して下さる仲間を募集しています。
お近くのシルバー人材センターへ、まずはお電話ください。

公益社団法人

福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル8F

TEL 092-623-5656 FAX 092-623-5677

ホームページ <http://www.fscr.or.jp>